

逃げ水 I

草の葉末の間から  
影のやうに  
馬ものぞいて  
魅入られたのだ

魔法の水なのだ  
馬も追つて  
倒れかかった  
大きい目をあけたままだつた

もの音ひとつしない原に  
向ふ側に  
いつもある黒い逃げ水

白い光線の降る中で  
夕方のやつて来るまでに  
死に絶えたものもある